

## 心理学的支援法

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》関口 真有 (心理科学部) (sekiguchi@hoku-iryu-u.ac.jp)

### 【概要】

公認心理師は、医療や福祉、教育、司法、産業と様々な現場での活躍が期待されている。公認心理師に求められている業務内容として、心理に関する支援を要するものに対し、その心理に関する相談に応じ、助言・指導、その他の援助を行うことが明記されている。本講義では、心理学的支援法 に続き、認知行動療法を中心に、様々な技法、支援の方法について理解を深める。また、支援を行う上で基本となる治療関係の構築に必要なコミュニケーションについても学ぶ。

### 【学修目標】

認知行動療法の歴史、概念、意義とその適応や限界を理解する。  
様々な問題について、認知行動的視点から理解する。  
訪問による支援や地域支援について理解する。  
良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの能力を身に付ける。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

### 【実務経験】

臨床心理士/公認心理師

### 【実務経験を活かした教育内容】

これまでの公認心理師としての臨床経験、研究成果、社会活動に基づき、臨床現場で必要とされる基本的な知識からその応用までを修得できるような講義を展開する。